

評価構成

以下の構成で評価を行いました。

ソフトウェア構成

Redhat Enterprise Linux 5 Server	5.10 for Intel x86 (kernel-2.6.18-371.el5、kernel-2.6.18-371.el5PAE) / 5.10 for Intel EM64T/AMD64 (kernel-2.6.18-371.el5)
Redhat Enterprise Linux 6 Server	6.5 x86 (kernel-2.6.32-431.el6.i686) / 6.5 x86_64 (kernel-2.6.32-431.el6.x86_64)
CentOS 5	5.10 for i386 (kernel-2.6.18-371.el5、kernel-2.6.18-371.el5PAE) / 5.10 for x86_64 (kernel-2.6.18-371.el5)
CentOS 6	6.5 for i386 (kernel-2.6.32-431.el6.i686) / 6.5 for x86_64 (kernel-2.6.32-431.el6.x86_64)

ハードウェア構成 (詳細はハードウェア製品情報を参照してください。)

	16x 2.5型 ドライブモデル
BIOS	4.6.0006
BMC	1.04
CPU	Intel® Xeon® Processor E5-2403v2 x 2
MEMORY	DDR3L-1600 Unbuffered DIMM 4G x 2
RAID Controller	RAIDコントローラ(512MB, RAID/0/1/5/6)
HDD	SAS 300G x 4
VIDEO	Matrox G200e pilot
LAN	1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T x 4
USB	9 x USB2.0

動作確認結果

○: 当該ディストリビューションで動作可能

項目	確認結果	確認方法	注意事項など
インストール	○	グラフィカルインストールできる事を確認	特にありません
CPU	○	/proc/cpuinfo にて、動作周波数、論理CPU数を確認	特にありません
メモリ	○	/proc/meminfo にて総容量を確認	特にありません
キーボード/マウス	○	X Window Systemでの動作を確認	特にありません
LAN	○	(1)	特にありません
ビデオカード	○	X Window Systemでの動作を確認(TFT液晶ディスプレイ17型-Lを使用)	特にありません
FAN障害	○	ipmievd にて、FAN障害を検出できる事を確認	特にありません

周辺機器確認結果

○: 当該ディストリビューションで動作可能

営業形番	名称	確認結果	確認方法
TN8151-122T	内蔵 DVD-ROM	○	(1)
TN8160-91T	外付 DVD-ROM	○	(1)
TN8151-102T	LTOバックアップ装置(LTO3)	○	(3)
TN8151-90T	LTOバックアップ装置(LTO4)	○	(3)
TN8151-103T	LTOバックアップ装置(LTO5)	○	(3)
TN8151-78AT	USBバックアップ装置(DAT160)	○	(3)
TN8151-105T	USBバックアップ装置(RDX)	○	(11)
TN8103-142T	SASコントローラ	○	(5)
TN8104-138T	1000BASE-T 接続ボード(1ch)	○	(1) (2) (6)
TN8104-132T	1000BASE-T 接続ボード(2ch)	○	(1) (2) (6)
TN8104-133T	1000BASE-T 接続ボード(4ch)	○	(1) (2) (6)
TN8190-157T	Fibre Channel コントローラ (1ch)	○(※2)	(5)
TN8190-158T	Fibre Channel コントローラ (2ch)	○(※2)	(5)
TN8142-22AT	無停電電源装置(750VA)(ラックマウント用)	○(※1)	(7)
TN8142-33T	無停電電源装置(1200VA)(ラックマウント用)	○(※1)	(7)
TN8142-41T	無停電電源装置(1500VA)(ラックマウント用)	○(※1)	(7)
TN8142-42T	無停電電源装置(3000VA)(ラックマウント用)	○(※1)	(7)
TN8142-38T	無停電電源装置(2400VA)(ラックマウント用)	○(※1)	(7)

(※1) 使用したPowerChute Business EditionのバージョンはV9.1.1です。

(※2) RHEL6.5/CentOS6.5以降のX86\_64をサポートします。

注意/制限事項

上記構成で評価した結果の注意/制限事項は以下の通りです。

- Linux用RAIDユーティリティについて  
RAIDシステムやRAIDコントローラの障害監視や管理をされる場合には、Linux用RAIDユーティリティをご利用ください
- サーバー管理について  
MAGNIA R3320cのBMC (Baseboard Management Controller)は、ご利用いただくディストリビューションのIPMI(Intelligent Platform Management Interface)に対応しています。サーバー管理に必要なIPMIのさまざまな機能を利用するためには、IPMI機能を有効にしてください。
- USBデバイスについて  
コンピューターの立ち上げやシャットダウンを行う場合には、USB機器を外してください。USB機器を装着したままで、コンピューターの立ち上げやシャットダウンを行うと、途中で停止することがあります。
- PowerChute Business Edition V9.1.1について  
RHEL5/CentOS5の場合には、Linux Agentのインストールに失敗する場合があります。  
詳細は、PowerChute Business Edition V9.1.1 Linux Agentのインストールに失敗しますのFAQを参照してください。